

## 職業実践専門課程の基本情報について

|              |  |                |                               |   |  |  |
|--------------|--|----------------|-------------------------------|---|--|--|
| 学 校 名        |  | 設置認可年月日        | 校 長 名                         |   | 所 在 地  |  |
| 読売理工医療福祉専門学校 |  | 昭和51年6月1日      | 渡 邊 敏 章                       |   | 〒108-0014<br>東京都港区芝 5-26-16<br>(電話) 03-3455-0221 |  |
| 設 置 者 名      |  | 設立認可年月日        | 代 表 者 名                       |   | 所 在 地  |  |
| 学校法人 読売理工学院  |  | 昭和45年1月31日     | 千 葉 康 文                       |   | 〒108-0014<br>東京都港区芝 5-26-16<br>(電話) 03-3455-0221 |  |
| 目 的          | 実習を多く取り入れる授業を編成し、実際に働く現場で通用する知識や技術を習得することにより、番組制作等の現場において即戦力となる人材を育成することを目的としている。  |                |                               |   |  |  |
| 課 程 名        | 学 科 名  | 修業年限<br>(昼、夜別) | 全課程の修了に<br>必要な総授業時<br>数又は総単位数 | 専門士の付与  | 高度専門士の付与   |  |
| 工業専門課程       | 放送映像学科   | 2年(昼)          | 100単位                         | 平成22年文部科学<br>大臣告示第31号                                     | —  |  |
| 教 育 課 程      | 講義   | 演習             | 実験                            | 実習  | 実技   |  |
|              | 45単位   | 5単位            | 0単位                           | 82単位  | 0単位  |  |
| 生徒総定員        |  | 生徒実員           | 専任教員数                         | 兼任教員数   | 総教員数   |  |
| 120人         |  | 95人            | 6人                            | 17人   | 23人  |  |
| 学期制度         | ■前期：4月1日～9月30日<br>■後期：10月1日～3月31日  |                | 成績評価                          | ■成績表 (有・無)<br>■成績評価の基準・方法について<br>定期試験、出席、演習、課題等の総合評価      |  |  |
| 長期休み         | ■学年始め：4月11日<br>■夏 季：8月1日～8月31日<br>■冬 季：12月25日～1月7日<br>■学 年 末：3月21日～31日   |                | 卒業・進級条件                       | 卒業：必修科目を含む修得単位数が<br>100単位以上<br>進級：必修科目を含む修得単位数が<br>50単位以上 |  |  |
| 生徒指導         | ■クラス担任制 (有・無)<br>■長期欠席者への指導等の対応<br>本人又は保護者に電話連絡  |                | 課外活動                          | ■課外活動の種類<br>・スタジオや機材展示会の見学<br>■サークル活動 (有・無)               |  |  |
| 主な就職先        | ■主な就職先、業界<br>テレビ番組制作会社<br>■就職率 <sup>※1</sup> 100%<br>■卒業者に占める就職者の割合 <sup>※2</sup><br>100%<br>■その他(任意)<br>(平成27年度卒業者に関する平成28年4月<br>時点の情報) |                | 主な資格・検定                       | 映像音響処理技術者資格認定試験   |  |  |

|                |  |
|----------------|--|
| <p>中途退学の現状</p> | <p>■中途退学者 18名 ■中退率17%<br/> 平成27年4月1日在学者 105名(平成27年4月入学者を含む)<br/> 平成28年3月31日在学者 87名(平成28年3月卒業生を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由<br/> 進路変更、出席不良、経済困窮</p> <p>■中退防止のための取組<br/> 補習、学生カウンセリング、奨学金の支給等</p> |
| <p>ホームページ</p>  | <p>URL:<a href="http://www.yomiuririkou.ac.jp/">http://www.yomiuririkou.ac.jp/</a></p>   |

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除いたものとする。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※ 「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

## 1. 教育課程の編成

### (教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

教育課程の編成に関しては、企業等と連携し、最新の技術を教育に取り入れる事と、読売グループの一員として、番組制作会社との間で就業体験を中心とするインターンシップ制度を行い、卒業後、放送業界で就業できる教育を行うことを基本方針としている。

日々進歩する放送技術を教育に反映させる為に、現場で活躍している技術者を兼任教員として招聘し、職業実践的な教育を積極的に取り入れている。また、放送業界の動向に注目し、新しい教育機材の導入にも積極的に対応している。

### (教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年 6月30日現在

| 名 前   | 所 属                      |
|-------|--------------------------|
| 毛塚 善文 | 日本映画テレビ技術者協会 常務理事・事務局長   |
| 羽場 宏祐 | 株式会社インターナショナルクリエイティブ最高顧問 |
| 渡邊 敏章 | 読売理工医療福祉専門学校 校長          |
| 水落 清治 | 読売理工医療福祉専門学校 放送映像学科 学科長  |

### (開催日時)

第1回 平成28年 7月26日 15:30～16:30

## 2. 主な実習・演習等

### (実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

企業等の人材ニーズを活かしつつ、放送業界の現場で必要となる実践的かつ専門的な能力を育成するため、実習・演習等の授業において、企業等との組織的な連携を通じ、最新の技術動向が反映された技術・技能を教育する。

また、最も実践的な実習・演習等の場として、企業等との間でインターンシップ制度を設けている。これは、就業体験を中心とする企業研修制度であり、履修単位として認定している。

| 科 目 名        | 科 目 概 要  | 連 携 企 業 等          |
|--------------|--|--------------------|
| コミュニケーションスキル | よしもと式コミュニケーション向上プログラムにより、「お芝居」「お笑い」などの要素を取り入れ、情報収集力、発想力、想像力、表現力を磨く。より自然でより効果的なコミュニケーションスキルの向上をはかる為に、「自己演出力」の修得を目指す。  | 株式会社よしもとスタッフマネジメント |
| 音声実習         | テレビ番組における音声の收音方法について、基本的な機器操作や技術を修得させる。担当教員の経験から各種番組のノウハウを分かり易く説明し、全員が音声を担当しても困らない程度の技術と知識を持った人材を育てる。  | 株式会社A&N PRO        |
| 編集技術         | 映像編集の実技を通して基礎の編集技術を身につけ、映像への興味と感性を養う。また、テレビ業界の現役編集者の実技指導によって、より実践的な技術と知識を学ぶとともに、編集の楽しさとやりがいを知り、専門職への興味を持たせる。   | 日本TV映像株式会社         |
| 番組制作実習Ⅱ      | スタジオでの番組制作について実践を通して学ぶ。様々なジャンルの番組を制作していく中で、番組制作のノウハウを学び、応用力を付ける。対談番組ではサイズやカッティングの基礎、バラエティーではアドリブ性やハプニングに対する対応、音楽番組では照明・音のチームワークやバランス・サイズ等の構図、料理番組では演出による被写体の見え方、等。 | 株式会社ファーストショット      |

### 3. 教員の研修等

#### (教員の研修等の基本方針)

電子情報技術産業協会が主催する国際放送機器展見学をはじめ、日本映画テレビ技術協会等が開催する研修会や東京都専修学校各種学校・東京都私学財団等が開催する研修会に計画的に参加し、実務に関する知識・技術の修得と学生指導力の向上を目指す。また、次年度は企業等から講師を招聘し、校内で教員対象の実務に関する研修会を開催し、最新の知識を得る機会とする。

### 4. 学校関係者評価

#### (学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年 6月30日現在

| 名 前    | 所 属                      |
|--------|--------------------------|
| 渡部 俊一  | 読売理工専校友会 副会長             |
| 植田 三喜男 | 臨床工学科学学生保護者              |
| 湯浅 孝雄  | 慶応仲通り商店会 会長              |
| 羽場 宏祐  | (株)インターナショナルクリエイティブ 最高顧問 |
| 鹿毛 信一  | 河端建設(株) 工事部部长            |
| 武田 知明  | 東邦電計(株) 営業部部长            |
| 笹口 友美  | 北里大学北里研究所病院 看護部 看護師      |
| 大庭 尚子  | 港区立特別養護老人ホーム港南の郷 保健課長    |

#### (学校関係者評価結果の公表方法)

URL : <http://www.yomiuririkou.ac.jp/about/>

### 5. 情報提供

#### (情報提供の方法)

URL : <http://www.yomiuririkou.ac.jp/about/>

授業科目等の概要

| (工業専門課程 放送映像学科) 平成28年度 |      |      |              |   |         |      |     |      |    |          |
|------------------------|------|------|--------------|---|---------|------|-----|------|----|----------|
| 分類                     |      |      | 授業科目名        | 授業科目概要  | 配当年次・学期 | 授業時数 | 単位数 | 授業方法 |    |          |
| 必修                     | 選択必修 | 自由選択 |              |   |         |      |     | 講義   | 演習 | 実験・実習・実技 |
|                        | ○    |      | 社会人基礎力講座     | 社会人として必要な基礎的な力を理解し、「挨拶をする」「積極的に自分の考えを発言する」など、チームで働く力や向上心を伸ばし、就職に対する意識を高めます。また、就職や将来の夢を実現するために、自己理解を深めた上での書類の書き方、面接での基本姿勢など、実戦形式も取り入れた授業を行います。 | 1後      | 40   | 2   | ○    |    |          |
| ○                      |      |      | 特別講義         | 各分野で活躍されている現場の方を講師として招き、今現在の仕事の様子や今後の動向などを交えて講義する。  | 1前      | 40   | 2   | ○    |    |          |
|                        | ○    |      | マルチメディア工学概論  | コディジタル画像や映像を扱う上で必要な知識として、各種記録媒体やインターフェース、光ディスクの種類やファイルの圧縮について学ぶ   | 1通      | 80   | 4   | ○    |    |          |
|                        | ○    |      | コミュニケーションスキル | よしもと式コミュニケーション向上プログラムにより、「お芝居」「お笑い」などの要素を取り入れ、情報収集力、発想力、想像力、表現力を磨く。より自然でより効果的なコミュニケーションスキルの向上をはかる為に、「自己演出力」の修得を目指す。                           | 1前      | 40   | 2   |      | ○  |          |
|                        | ○    |      | 基礎演習         | 1年次にクラスでの活動や就職指導、機器の説明などを行う。  | 1前      | 20   | 1   |      | ○  |          |
|                        |      | ○    | 一般教養講座       | 基礎学力の向上と就職試験対策を目的として、数学と国語の復習を行う。数学は式の計算、展開・因数分解、平方根、方程式、関数、相似、図形の面積・体積など。国語は漢字の読み・書き、類義語・対義語、熟語、同訓異字・同音異義語、新聞読解など。                           | 1通      | 80   | 4   | ○    |    |          |

|   |   |   |           |   |        |     |   |  |   |   |
|---|---|---|-----------|---|--------|-----|---|--|---|---|
|   |   | ○ | 海外研修      | 姉妹提携校であるオーストラリアのクイーンズランド州政府が運営するゴールドコースト技術教育専門学校で英語を学び、ホームステイ等、異文化での様々な体験を通して、広い視野と国際感覚を身に付ける事を目的とした海外研修を実施している。オーストラリアの歴史や文化に触れる海外研修をしている。 | 1<br>前 | 40  | 2 |  | ○ |   |
|   |   | ○ | 日本語講座     | 留学生を対象にした講座で、これから受ける専門教育の授業内容を理解するために必要となる日本語の基礎知識を学ぶ。内容は、文法・文字・語彙・文章理解・作文など。また、日本語能力に個人差があるので、各人の能力に合わせて日本語能力検定の受験指導なども行う。                 | 1<br>前 | 40  | 2 |  | ○ |   |
| ○ |   |   | スタジオ実習 I  | ①照明効果を理論と実技を通して学ぶ<br>②作品作りのノウハウ、楽しさを知る。又、放送マスコミ業界で仕事をする上での心構え<br>③発想の転換・感性を磨く<br>④カメラの先生との連携で照明の重要性を学ぶ<br>⑤基本を繰り返し修練する                      | 1<br>通 | 160 | 8 |  |   | ○ |
|   | ○ |   | 音声実習      | テレビ番組における音声の收音方法について、基本的な機器操作や技術を修得させる。担当教員の経験から各種番組のノウハウを分かり易く説明し、全員が音声を担当しても困らない程度の技術と知識を持った人材を育てる。                                       | 1<br>通 | 60  | 3 |  |   | ○ |
|   | ○ |   | 編集技術      | 映像編集の実技を通して基礎の編集技術を身につけ、映像への興味と感性を養う。また、テレビ業界の現役編集者の実技指導によって、より実践的な技術と知識を学ぶとともに、編集の楽しさとやりがいを知り、専門職への興味を持たせる。                                | 1<br>通 | 80  | 4 |  |   | ○ |
|   | ○ |   | ノンリニア編集基礎 | パソコンの操作に慣れながら素材の取り込み・完パケ編集の基本操作を学ぶ。   | 1<br>通 | 80  | 4 |  |   | ○ |
|   | ○ |   | ENGロケ取材基礎 | ENGカメラの使用法を最低限マスターする。<br>撮影基礎のマスター。   | 1<br>前 | 80  | 4 |  | ○ |   |
|   | ○ |   | ENGロケ取材実習 | ENGカメラの使用をマスターする。   | 1<br>後 | 80  | 4 |  |   | ○ |

|  |   |   |          |  |        |     |   |  |  |   |   |
|--|---|---|----------|--|--------|-----|---|--|--|---|---|
|  | ○ |   | コンテンツ制作Ⅰ | Photoshop と Illustrator の使用方法を正しく理解し、映像コンテンツの素材等を作成する。   | 1<br>前 | 20  | 1 |  |  |   | ○ |
|  | ○ |   | コンテンツ制作Ⅱ | Photoshop と Illustrator の連携や、動画と静止画、動画と動画の合成方法について理解する。  | 1<br>後 | 20  | 1 |  |  |   | ○ |
|  | ○ |   | 企画演出論    | 放送番組のスタッフとして、最低限知っておくべき映像演出の技法を学ぶ。演出技法の解説をした後にその技法が使われている映画の1シーンを見せて、現場ですぐに生かせる技術を判りやすく身に付けさせる。参考作品を見せて分析・解説して映像作品への理解を深める。  | 1<br>通 | 80  | 4 |  |  | ○ |   |
|  | ○ |   | 企画演出実習   | テレビ番組、映画の制作で使われる企画書、脚本、構成案、スケジュール表などの作成、指導をする。   | 1<br>後 | 20  | 1 |  |  |   | ○ |
|  | ○ |   | 編集理論     | 1 映像編集に関する基礎知識を学び、編集の面白さと奥深さを理解して映像への興味を養う。<br>2 テレビ業界の現役編集者の体験講義の中で、専門職への夢を持たせる。  | 1<br>後 | 40  | 2 |  |  | ○ |   |
|  |   | ○ | インターンシップ | 企業等において、実際の現場を体験することを目的とした就業体験を行う。   | 1<br>後 | 80  | 4 |  |  |   | ○ |
|  | ○ |   | 電気基礎     | 映像、音声、照明などの機器を操作する時に必要な電気の基礎的な知識を習得する。   | 1<br>通 | 80  | 4 |  |  | ○ |   |
|  | ○ |   | 放送技術概論   | 放送分野に必要な、さまざまな技術的知識を習得する。  | 1<br>通 | 80  | 4 |  |  | ○ |   |
|  | ○ |   | テレビ音声    | テレビ音声の役割を理解させ他の部署との協調性を常に保つよう指導して1年間で音声の基礎と機器の操作方法を習得させる。  | 1<br>通 | 80  | 4 |  |  | ○ |   |
|  | ○ |   | テレビジョン概論 | 1. 業界マナーを把握し、業界専門用語を理解する。<br>2. テレビジョン放送の仕組みを理解し、放送機器の動作原理を把握する。   | 1<br>後 | 20  | 1 |  |  | ○ |   |
|  | ○ |   | スタジオ実習Ⅱ  | スタジオでの番組制作について実践を通して学ぶ。様々なジャンルの番組を制作していく中で、番組制作のノウハウを学び、応用力を付ける。対談番組ではサイズやカッティングの基礎、バラエティーではアドリブ性やハプニングに対する対応、音楽番組では照明・音のチームワークやバランス・サイズ等の構図、料理番組では演出による被写体の見え方、等。 | 2<br>通 | 160 | 8 |  |  |   | ○ |

|    |   |  |               |  |    |                 |    |  |   |  |   |
|----|---|--|---------------|--|----|-----------------|----|--|---|--|---|
|    | ○ |  | デジタルエフェクトⅠ    | アフターエフェツ(アプリケーション)を使って映像表現の幅を広げる。物づくりの基礎と心構えを学んでもらう。映像のデジタルでの扱いの基礎を学んでもらう。   | 2前 | 80              | 4  |  |   |  | ○ |
|    | ○ |  | デジタルエフェクトⅡ    | アフターエフェツ(アプリケーション)を使って映像表現の幅を広げる。物づくりの基礎と心構えを学んでもらう。映像のデジタルでの扱いの基礎を学んでもらう。   | 2後 | 80              | 4  |  |   |  | ○ |
|    | ○ |  | 番組制作論         | 本講座では前期で放送の概要をはじめ放送制度、放送局の業務・組織など放送全般について学習する他<br>映像音響処理資格認定試験の特別授業、後期では番組企画、番組の概要の他、学園祭や卒業作品の制作実習を通して番組において学習、放送に関する広い知識を身につけた人材を育成する事を目標とする。 | 2通 | 80              | 4  |  | ○ |  |   |
|    | ○ |  | ドラマ演出論        | 映像作品を制作する際に必要とされる、基本的な演出技法を習得する。   | 2通 | 80              | 4  |  | ○ |  |   |
|    | ○ |  | 番組制作実習        | 課題に対して的確なカメラワークができるように実力をつける。  | 2前 | 120             | 6  |  |   |  | ○ |
|    | ○ |  | ノンリニアエディティングⅠ | パソコンの操作に慣れながら素材の取り込み・完パケ編集の基本操作を学ぶ。  | 2前 | 80              | 4  |  |   |  | ○ |
|    | ○ |  | ノンリニアエディティングⅡ | パソコンの操作に慣れながら素材の取り込み・完パケ編集の基本操作を学ぶ。  | 2後 | 80              | 4  |  |   |  | ○ |
|    | ○ |  | 総合演習          | テレビ番組、映画の制作で使われる脚本、コンテ、スケジュール表などの作成、指導をする。後半は卒業制作の脚本作りを指導する。   | 2通 | 200             | 10 |  |   |  | ○ |
| ○  |   |  | 卒業制作          | ENGでの制作の総仕上げ、技術レベルを上げる。台本を理解できるようにする。  | 2後 | 240             | 12 |  |   |  | ○ |
| 合計 |   |  | 34科目          |  |    | 2640単位時間(132単位) |    |  |   |  |   |